

防火と安全

自分と自宅を火災から守る最も効果的な方法は、火災の危険を特定し、取り除くことです。家庭で発生する火災による死者の65パーセントは、煙探知器がない、あるいは作動しない場合に発生します。家庭で火災が発生した場合、煙検知器が作動していて、定期的に避難訓練をしておけば、火災による死亡を防ぐことが可能です。

家庭での防火

- ヒーターやコンロの近くなど、高温になる場所から、燃えやすい物を1m以上離します。
- ベッドではたばこを吸わないでください。
- 火災の危険性について子供に定期的に話しをし、マッチやライターは手の届かないところに保管します。
- 部屋を使っていないときや就寝の際は、ポータブルヒーターの電源を切ります。
- 食事の準備で火を使う場合は、台所から離れないでください。短時間でも台所を離れる場合は、火を消してください。

家庭での火災安全

- 自宅の各階、寝室内と外に煙探知器を取り付けます。毎月電池をテストし、年に一度は交換してください。
- 自宅の各階、寝室内と外に、一酸化炭素警報器を取り付けます。一酸化炭素警報器は、煙探知器の代わりにはなりません。煙探知器、一酸化炭素警報器の音の違いを確認しておいてください。
- 自宅に、1個または複数の消火器を配置することを検討します。消火器の使用方法については、消防署から訓練を受けてください。
- 自宅に自動火災スプリンクラーシステムを設置することを検討します。
- 火災時の避難プランを家族で話し合い、年に2度は訓練しましょう。

火災が発生した場合

- 避難プランにしたがってください。
- **屋外に出る、家の中に入らない、911番に電話する**
ことを忘れずに実施してください。または、ビルから安全に出た時短で、地域の緊急電話まで連絡します。